

ユア コース シリーズ

S F 入門

# なぜの四次元

著  
・  
斎藤守弘



ユア コース シリーズ NDCI47

SF入門なぞの四次元

昭和50年6月20日 初刷発行  
昭和52年2月1日第5刷発行

定価 450円

著者 齋藤 守弘  
さいとう もりひろ

発行者 児山 敬一  
編集人 岡田 恵二郎  
発行所 株式会社 学習研究社  
東京都大田区上池台4丁目40番5号  
郵便番号145 振替 東京8-142930  
電話 03-720-1111  
印刷所 廣濟堂印刷株式会社

この本の内容・製本に関するお問い合わせは  
下記をお願いします。

文書は⇒(〒145)東京都大田区上池台4丁目  
40番5号 学研 ユーザー  
・サービス部  
「ユア コース シリーズ」係

電話は⇒東京(03)720-1111(代表)

©齋藤 守弘 昭和50年

8311-143 612-1002

(無断複製・転載・翻訳を禁ず)

Printed in Japan

●●●● S F 入門 ●●●●  
なぞの四次元



著 / 斎藤守弘

発行  学研  
学研研究社





# まえがき

最近、友だちからこんな電話をうけた。

「このごろ、むすこがアマチュア無線にこつていてね。自分で機械を組み立て、ハムの国家試験にもパスしたんだが、それで何をしているのかと思ったら、無線をつうじておもしろい研究グループを作っているんだ。なんと、四次元世界のなぞを研究しているらしい」という。

「たのもしいですね。四次元世界は、今の科学でもなぞだらけ。そういう未開拓の分野に取り組むのは、まことにごりつば！ ところでむすこさんは大学何年ですか。」

私はびっくりしたのだが、そのむすこさんは大学生でも高校生でもなかった。ごくふつうの中学生だったのだ。

考えてみると、中学生を対象とした、四次元世界についての解説書は、ひじょうに少ない。

それも、たんなるSFであったり、いわゆる



超常現象の寄せ集めだったり、あるいはむずかしい数学的な解説だったりして、本格的な四次元世界研究の手引きになるようなものは、ほとんどない。

そんなにもずかしいのだろうか。いや、ソ連の科学アカデミー全ソ天文学、測地学会会員、V・N・コマロフ博士もいうように、

「もしも、そういう四次元世界がほんとうに存在するのなら、私たちの三次元世界に、なんらかの「おかしな」現象が起こりうるはずだ。」

本書では、そうした立場から、四次元世界に原因のありそうな「おかしな」現象を集め、それを私独自の考案による、『四次元ダイアグラム』（これはソ連の学者から「うまム」(これはソ連の学者から「うまム」(これはソ連の学者から「うまム」(これはソ連の学者から「うまム」(これはソ連の学者から「うまム」)とほめられた。)によって、総図解してみた。なぞの四次元世界研究とその実用化はまだ始まったばかりなのだ。

前衛科学評論家 斎藤守弘



I

# 四次元殺人事件

I

のなぞ

- 事件①人間と四次元現象  
地獄の火殺人事件……………10
- 事件②人間と四次元空間  
スッテンコロリ殺人事件……………16
- 事件③人間と四次元現象 じしゅう  
「劇画」  
悪魔の風殺人事件……………20
- 事件④人間と動物の四次元 ようかい  
妖怪力殺人事件……………30

もくじ

ようかい・  
妖怪ガ殺  
人事件  
…… P.30

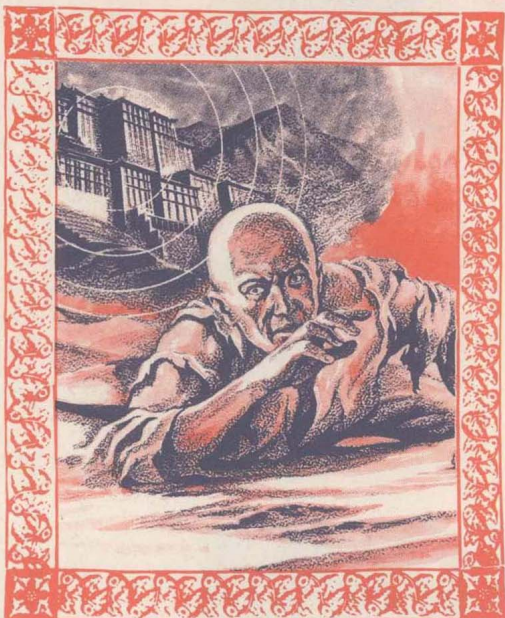


# 空間トンネル現象

…P.58

## II 四次元移動現象 II

のなぞ



### §① 「劇画」

瞬間移動のできる四次元少年ノ…… 42

§② 過去に迷いこんだ女性…… 52

§③ チベットからメキシコへ四次元漂流…… 58

§④ 夢が古代へ橋渡し…… 64

§⑤ 降霊術で出現した古代人ノ…… 68

## ◆四次元サイエンス

§① これが四次元世界だ

…… 34

§② 超未来学——人類、四次元を征服ノ…… 72

§③ ピラミッドの四次元ミステリー…… 102

§④ ブラック・ホールは四次元への入り口？…… 138

§⑤ 四次元エネルギーとは…… 164

§⑥ 四次元世界大推理…… 186





III

# 四次元スリラー 事件のなぞ

III

- ① 幽霊飛行機に衝突した!? ..... 76
- ② 「劇画」
- ③ したたりおちる血の怪奇 ..... 80
- ④ 地獄への入り口? 底なし砂箱 ..... 90
- ⑤ 数百万年生きたガマノ ..... 94
- ⑥ 家がつぜん大回転ノ ..... 98

# 空間転移現象 ....P.94

IV

# 四次元消滅現象 のなぞ

IV

- ① 大地のすきまにのまれた男ノ ..... 106
- ② お化けの穴から顔がでた!? ..... 112
- ③ つい落した飛行機に人がいないノ ..... 118
- ④ 四次元に正面衝突した自動車ノ ..... 124
- ⑤ 人食い森は消失ゾーン ..... 128
- ⑥ 四次元スコールがのみこんだ巨艦 ..... 134

# 四次元孔現象 ....P.118







## V 四次元エネルギー V

のなぞ

§① 四次元うずまき現象

空中を走る光るうず……………142

§② 残留<sup>ざんりゅう</sup>うずまき現象

オレゴンの怪奇エネルギー……………146

§③ 四次元浮揚<sup>ふよう</sup>現象

町が空をとんでいく……………150

§④ 四次元気泡<sup>きほう</sup>現象

舞いあがる制服の少女……………156

§⑤ 四次元震動<sup>しんどう</sup>現象

巨船<sup>きゆうせん</sup>が三拍子<sup>さんひやくし</sup>で踊<sup>おど</sup>る!?!……………160

四次元  
気泡現象  
…P.156



タイムマシン人間…P.182

VI 四次元からの使者 VI

(I) 過去から来た男……………168

(II) 空中を飛ぶ、なぞの円筒<sup>えんとう</sup>物体……………174

(III) 空中からふるナゾの食物「マナ」!?!……………178

(IV) 未来からの逃亡<sup>とうぼう</sup>者!?!……………182

## この本の読み方

●この本では、原因のまったくわからない怪事件の中から、「四次元世界」に関連があると思われる事件だけを集めて、六章に分類してある。

●各事件は、追跡編と推理編の二部構成になっている。追跡編では、イラストや写真を使って事件をくわしく紹介し、推理編では、他の事件を引用しながら、その原因を科学的に追求！各推理編には、SFに登場する四次元世界が、ほんとうにあるという立場からの大胆な推理も展開してある。

●各章の終わりには、四次元サイエンスのページを設けて、「四次元世界」の全体像がわかるように構成してある。

## 《この本を作った人たち》

- 文・構成 ■ 斎藤守弘
- 装丁 ■ 日本プランニングセンター AD・府川和明
- 本文デザイン ■ 小原義也
- 表紙イラスト ■ 山本耀也
- イラスト ■ 秋吉巒 井上大介 岩本光正 加藤孝雄  
河合秀和 金森達 斎藤和明 田村元  
南村喬之 山本耀也
- 劇画 ■ 井上大介 河合秀和 北沢しげる
- 版下 ■ 井手研二 高橋道子 三宗久
- 写真・資料提供 ■ 斎藤守弘 学研企画資料室





# 第一章

# 1 四次元殺人事件の謎

世界には、死因しゆいんがまったくわからない殺人まつじん事件じけんや、犯人せんざいが存在そんざいしない殺人事件ぞくはつが続発ぞくはつしている。コロンボ刑事けいじも、ホームズもお手あげの怪事件あやうの数々！ これらの怪事件あやうを、超科学ちがくの立場から推理してみよう。



追跡編

燃えあがる人体!?

事件①人間と四次元現象

# 地獄の火殺人事件

人体は発熱する。しかし、急激にセツ氏千度以上の熱を発生することがあるといったらきみは信じられるだろうか？



## ◆胸をかきむしる女性

にぎやかなダンス音楽にあわせて、いく組かの男女がすべるように踊っていた。

土曜日の晩である。ここイギリス、チェムスフォードにあるダンスホールは、いつものようににぎわっていた。

と、とつぜん、ホールで踊る人たちの中からすさまじい悲鳴があがった。

「あーッ！ 熱い熱い、助けてー！」

若い女性だった。白のしゃれたイブニングドレスを着ていて、胸をかきむしるようにもがいている。

ドレスが燃えているのだ。まるで、火炎放射器の炎のように、すさまじい火熱だ。

とつさに、火を消そうとするのか、上着をぬいでかぶせようとする男性！ 同伴者らしい。

だが、男はいくらかも接近できずにとびのいた。「だめだ！ 熱くてとても近づけない！」

なんども不可解な火であった。その夜は九月二〇日。近くにストーブとか、はだかの燈火はなかった。

女はタバコを吸っていなかったし、ダンスのさいちゆうのことだから、タバコに火をつけたままそばを通った者もない。

たとえ、女性のドレスが燃えやすい化繊でできていたとしても、引火をひきおこすような原因は、なにもなかったのだ。

にもかかわらず、女はダンスのさいちゆう、

とつぜん火をふき、全身火だるまとなって、わめきながら、ホールの中を気がいのようにかきまわっているのだ。

### ◆地獄の青い火

ふしぎなことに、煙はでなかった。

あたかも、全身からガスの炎を吹きだすように、無数の無気味な青白い炎につつまれたのである。

### ——地獄の青い火——

そうよばれて、むかしから人々に恐れられてきた奇怪な人体発火現象、それが一九三八年のこの夜、発生したので。

原因不明の高熱の火はすぐ燃えつきて、数秒後、女は黒こげとなって床に横たわっていた。

その恐怖の数秒間、ホールの人々はただ顔をひきつらせ、ふるえながら、この怪現象を見ま

もるだけであった。

人肉の焼ける異臭がホールいっぱいに流れたが、不思議なことに、フロアやまわりの調度品は、ほとんどこげていなかった。

多くの証人の証言を聞いたあとで、検死官、L・F・エックルスは、記者会見で、次のように語った。

「私の長い経験のうち、こんな不思議な事件にぶつかったのは、初めてだ」と。







# 肉体と靈魂のつながりが崩壊!?

## ◆多発している怪焼死事件

推理の参考に、最近おこった例を紹介してみよう。

- ①一九五六年四月二八日、アメリカのハロルド・ホール（59歳）は、服を着がえに家に帰って、三分後焼死した。内臓まで焼けただれていたが、背中の中の衣服はすこしもこげていなかった。
- ②一九五九年四月、アメリカの生後四か月の赤ん坊、リッキー・フルイットは、ベッドに寝ていて焼け死んだが、寝台にもフトンにもこげあとはなかった。
- ③一九五七年一月三日、アメリカの若者、リー・ピーターソンは、車庫内の火の気のない車

の中で、焼けただれていた。

全身黒こげにもかかわらず、下着も服もこげておらず、体毛もそのままだった。

まだまだあるが、どのはあいにもいえること

は、その火が肉体を集中的におそい、しかも、

非常に短時間に、ものすごい高熱を発生して燃えさかることだ。

#### ◆火薬説

その燃え方は、火薬の燃え方に似ている。

人体からでる汗やその他の分泌物には、アンモニアやヨウ素などがふくまれているが、このふたつの成分が、ある量混合すると、爆発性の

物質にかわり、わずかの衝撃でも発火しやすくなるのではなからうか。

怪焼死が幼児や老人に多いのは、こういう老廃物を多く分泌するから？

#### ◆生体内核反応説

だが、それなら周囲に影響がおよばないはずがない。地獄の火は、からだの表面で燃えているのでなく、むしろ体内で燃えているらしい。

ふつう人体は、炭水化物を酸化し、セツ氏三六、七度の熱を発生しているが、酸化活動がいくら激しくなっても、千度以上の高温を発生することは不可能だ。そこで考えられるのが、生体内





## ●生体内で核爆発が？

人間は、肉体という物質領域と靈魂領域がくっついてできている。



くつつきかたは、  
メビウスの輪状？

メビウスの輪とは…  
ふつうのとじた輪を切り、半分ねじってくつつけたときができる。  
表と裏のくつついた輪のこと。



この接点で人体内核反応は起こる。



核反応である。

ふつう、生体内では原子核反応は起こらないとされているが、フランスのサハラ研究所長ケンブラン博士は、ネスミと油田労働者を対象にした実験から、生体内で核反応がおこっていると主張している。もし、生体内の原子核反応が存在し、活発化するなら、人間を焼死させることも可能だろう。

しかし、体内の原子のバランスが、このようにくずれることが、ありうるだろうか？

人間は、三次元的物質領域（肉体）と、四次的靈魂領域（精神）が、むすびついてできているが、このむすびつきに異常が生じると、からだを構成する物質に根本的な変化、核反応がおこるのかもしれない。人体のどこかに、三次元と四次元の接点がある。そう考えなければ、人体の四次元現象は説明できないのだ。